



令和4年9月30日

天野小校長室だより 10月号 天野小学校



野山を見渡すと、田畑の畔に彼岸花で赤く染まり、虫の鳴き声もセミからコオロギや松虫などの合唱に変わってきました。朝夕もめっきり涼しくなり、秋らしいさわやかな季節となりました。先日は学習参観に多数参加してくださりありがとうございました。9月にはたくさんの行事があり、学校が活気づいていました。その中でも3年ぶりに復活した「天野フェスティバル」と「6年生 室町体験」についてどんな様子だったかお知らせしたいと思います。

天野フェスティバル！

スローガンは「復活の準備は整った！盛り上げ！天野の超元気特区！！」

天野フェスティバルが三年ぶりに再開となりました。子どもたちが作る子どもたちのお祭り。新型コロナの出現で、3年もの間、この行事ができなくなり、子どもたちの楽しみが減っていました。でも、今年は、この行事ができた。それがとても嬉しい一日でした。このスローガンは、代表委員の人達が考えてくれた言葉です。まさに今年の天フェスにかける気持ちがそのまま表れているようで、感心しました。

お店づくりも、今年から1年生から6年生すべてのクラスで、お店を考えました。低学年もお店を開き、お店番もしっかりできました。6年生は二つのお店を開いてくれました。合計7つのお店をたてわり班で回り、優しく下の学年を連れて回ってくれていた6年生が大活躍でした。

お店づくりの時間も、教室でみんなが協力をして楽しそうに店を作っているのが印象的でした。全校朝礼の時間にCMを披露してくれましたが、CMにもすごく工夫がされていて、是非行ってみたいと思えるCMができていました。

さて、当日、どんなお店が出ていたか、ちょっと覗いてみましょう。

1年生は、箱積ゲームでした。色とりどりの箱を時間内にいくつ詰めるか、また箱には点数が書いてありその合計で一位を決定します。高学年も必死で、たくさんの箱を積み上げていました。

2年生は、「昭和屋」というお店でした。めんこ、福笑いやけん玉、お手玉やコマ等をして遊ぶことができます。昭和時代をイメージするのに、映像を見てからの取り組みだったと聞いています。

3年生は、魚釣りゲームでした。何匹の魚がいたのでしょうか。ブルーシートいっぱい魚たちが泳いでいました。中には、ジョーズのような大きい魚もいて、さながらそこは海でした。竿には釣り針（クリップ）がついていて魚の頭についている針金に引っ掛けてつります。時間いっぱい集中して遊ぶことができました。

4年生は、「スパイ大作戦」と称し、暗号を解いたり、宝探しをしたり、ストラックアウトや脱走ゲームなど様々なお題をクリアして教室を脱出しなければいけないお店でした。アニメの「スパイファミリー」がモチーフになっていて、なかなかの人気でたくさんの人が集まっていました。

5年生は、射的でした。たくさんの的が作ってあって、その上に点数が書かれてあります。ゴム鉄砲で的を狙います。温泉場にある射的場さながらで、めちゃくちゃ面白かったです。必死で的を狙ってみました。惜しいところで的を外すと、何度も挑戦したくなりました。

6年生の一つ目のゲームは、砂の中の宝探しとその探した宝の数だけ玉をもらえて、ストラックアウトができます。2段構えになっているところが6年生の知恵だと思いました。もう一つのゲームは、ブラックボックスでした。見えないものを触って何かを当てるゲームです。時々「ぷにゅっ」とした感触のものに手を触れぎょっとしました。6年生は、店の準備からCM、店番までほとんどが自分たちで自主的に動いたそうです。さすがだなと思いました。

たてわり班でお店を回り6年生が時間調節してあげながら、低学年がどのお店に行きたいか優しく聞きながら、回ってあげていたのも印象的でした。前半後半の時間もしっかりと守ることができ、どの子も楽しい笑顔で一杯でした。何より私が一番楽しんでいたらかもしれません。

思うことは、やはりこのような行事は必要だということです。何も無いところから、みんなを楽しませるお店を手作りで作っていく、既存のゲームで一杯の今の世の中、「ゼロから創造」していく機会が必要ではないかと思いました。そして、お店を作るのにも、クラスの仲間と一致団結して作っていかねばなりません。また、それぞれの役割分担でお店番をしていかねばなりません。自主性、創造性、協力、役割そんな力が自然と身につくこの取り組みは最高だと思いました。長い間封印されていた天野フェスティバルが復活し、みんな楽しんで本当にうれしかったです。

6年生 室町体験！

毎年、6年生で、室町時代から息づいている日本文化の水墨画、茶道、華道について、地域の方々が教えてくださいます。この活動を3年ぶりに復活することができました。天野公民館で水墨画クラブとして活動なさっている水墨画「蘭」の金田先生と皆さまによる水墨画体験、いつも華道クラブや茶道クラブでご指導に来てくださっている西田先生による茶道体験、がまの穂とトルコ桔梗、アジサイの葉っぱで素晴らしいお花を活けるご指導をいただいた中西先生の華道体験、それぞれに楽しい時間をそして日本人であることを誇りに思える体験をたっぷり二時間かけて教えてくださいました。

華道では、皆、同じ花材を活けているにもかかわらずそれぞれの個性が出て、まるで違う花のように生き生きと花器の中で生きづくお華に変わりました。（西田先生と一緒に、いつもあまりお金をかけないで、山に行って花や葉を探してきて下さり、それでいて美しく花を愛でられるようにとお心遣いをして下さっています。）茶道体験では、子どもたちにとって苦いお茶の味のおいしさが分かり、行儀作法やお手前の仕方、お茶のたて方を教わり、どんどんお茶のおいしさが分かるようになりました。茶室に入る間口が小さいのは、お茶をいただくときは武士や平民等身分も力も関係なく、皆、頭を少し下げて入ることで、そこに集まった人たちが分け隔てなくその場を楽しめるための工夫があるという話を聞いて「へえ、そうだったんだ。」と新たな勉強もさせていただきました。そして、水墨画では来年の干支のウサギの描き方を教わり大きな紙に全員でたくさんのウサギを描きました。そこに先生が仕上げとして影を墨でちょっと入れて下さったり少し色を足して下さったりすると、見事な作品になり、参観日に玄関に飾らせていただきました。

6年生は口々に「ちょうどこれから室町文化について習うところだったからとても参考になり良かった。」と話していました。それぞれの体験について、感想を載せたいと思います。

茶道体験

昨日は室町体験でお茶について詳しく教えていただきありがとうございました。私は幼稚園でお茶をしていました。お茶をたてるのが久しぶりだったのです。1回目は苦かったです。2回目には素早く「い」の字を書くように混ぜると1回目より苦みが少なくなりました。西田先生が立てるお茶はたくさん泡がたっていましたが、泡が立っている方がお茶がおいしくなるのですか。お茶をたてる体験すごく楽しかったです。機会があったらまたよろしくお願いします。

華道体験

この前はお花のことを教えていただきありがとうございました。自分もお花を剣山に挿したりしてめちゃくちゃ楽しかったです。みんな同じお花で活けたのにみんな全然違い個性が出てるなーと思いました。先生はあんな一瞬であんなにうまくできていて尊敬しました。お花を長持ちさせる方法とか教えてくださったので、また今度家でやってみます。ありがとうございました。

水墨画体験

水墨画を教えて下さりありがとうございました。とても楽しかったです。ウサギを描くのがとても難しかったです。バランスや形がいつも変になったりしましたが、「蘭」の皆さんが教えてくださったので色々分かるようになりました。水墨画を父母に見せたらほめてもらいました。ほめてもらったのも「蘭」の皆さんのお陰です。今回は本当にありがとうございました。